

# For Our Stakeholders

地域金融機関としての責務の遂行を通じ、  
ステークホルダーの皆さまとともに地域社会の持続的成長をめざします。  
本誌は、株主及び投資家の皆さまをはじめ、当行をご利用の皆さま、  
そして地域の皆さまに私たちの取り組みをご理解いただくとともに、  
私たちから皆さまへのコミットメントとして発行します。



## 経営理念

- 1** 皆さま・地域社会との共存共栄をめざします。
- 2** 活気ある企業風土の醸成をめざします。
- 3** 健全性の確保と企業価値の創造をめざします。

## 行動指針

- 対話を密にし、相互の信頼を深めます
- プロフェッショナルとして成長するための努力を惜しみません
- 多様性(ダイバーシティ)を理解し、人権を尊重します
- 環境の負荷軽減に努め、地域の活性化に貢献します
- ステークホルダーの期待を超える行動を実践します



# Contents



## イントロダクション

- 01 For Our Stakeholders
- 03 At a Glance

## マネジメントメッセージ

- 05 トップメッセージ



- 11 財務担当取締役メッセージ
- 15 ステークホルダーコミュニケーション
- 16 特集：150周年に向けた未来志向のプロジェクト始動

## 百十四グループの価値創造ストーリー

- 17 百十四グループのあゆみ
- 19 百十四グループの強み
- 21 百十四グループの価値創造プロセス
- 23 長期ビジョン
- 25 百十四グループマテリアリティ



## 価値創造の実践に向けた戦略

- 27 中期経営計画
- マテリアリティに基づく事業展開
- 29 地域経済活性化への取り組み
- 33 人生100年時代への対応
- 35 多様な人材が活躍・成長できる環境の整備



- 39 DXの実現と地域社会のデジタル化
- 43 気候変動等、環境課題への取り組み

## 価値創造を支える基盤

- 49 コーポレート・ガバナンス
- 53 社外取締役インタビュー



- 55 リスク管理及びコンプライアンスへの取り組み
- 59 役員一覧

### 統合報告書2025のポイント

本年度は、長期ビジョン2030の実現をめざすうえで、価値創造プロセスに基づく事業展開を通じた当行グループの主な取組状況を、外部環境等を踏まえて特定した重要課題(グループマテリアリティ)に沿って説明する内容としました。企業価値向上にはステークホルダーの皆さまとの対話が重要であることを認識しており、対話への主な取組内容を記載した「ステークホルダーコミュニケーション」の頁を新たに設けています。

また、2028年11月に迎える創業150周年に向けて、若手行員が中心のプロジェクト始動について、初公開する内容となっています。

本書をきっかけに、ステークホルダーの皆さまとの対話がより一層、進むきっかけとなれば幸いです。

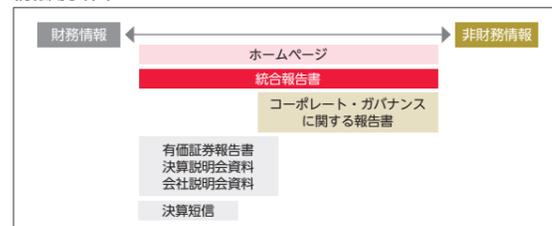
### 報告対象範囲

百十四銀行及びグループ会社

### 報告期間

2024年度(2024年4月1日～2025年3月31日)  
一部内容に2025年度を含みます。

### 情報開示体系



### 編集方針

百十四銀行は、当行グループの持続的な価値創造に向けた取組について、財務情報と非財務情報の両面から、ステークホルダーの皆さまに分かりやすくお伝えすることを目的に本報告書を作成しています。

編集にあたっては、国際統合報告評議会(IIRC)が提唱する「国際統合報告フレームワーク」及び経済産業省の「価値協創ガイダンス」などを参考にしています。

なお、本報統合報告書は、情報編(本報告書)及び資料編で構成され、銀行法第21条に基づくディスクロージャー資料(業績及び財産の状況に関する説明資料)を兼ねています。計数につきましては資料編をご覧ください。



## 百十四銀行 (2025年3月31日現在)

本店所在地	香川県高松市亀井町5番地の1
創業	1878年11月1日
総資産	5兆7,129億円
総預金	4兆7,112億円(譲渡性預金を含む)
貸出金	3兆5,128億円
資本金	373億円
発行済株式総数	28,630千株
従業員数	1,940人
店舗数	133店舗(本支店100、出張所22、ウィックスクエア6、コンサルティングプラザ5)
店舗外ATMコーナー	131カ所